

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 毎年3月31日

中間配当を行う場合の基準日 毎年9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 (お問い合わせ先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

住所変更等のお申出先について 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

公告方法 電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

公告掲載サイトアドレス https://www.garage.co.jp/ja/ir/public_notice/

上場取引所 東京証券取引所 市場第一部

銘柄コード 4819

 **Digital Garage**

株式会社デジタルガレージ

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南三丁目5番7号

【お問い合わせ先】 ☎ 03-6367-1111

【当社Webサイト】 <https://www.garage.co.jp/ja/>

ホームページのご案内

当社ホームページではIR情報のほか、デジタルガレージグループに関する情報をリアルタイムで紹介しております。ぜひご覧ください。



当社Webサイト <https://www.garage.co.jp/ja/>



当社Webサイト IRページ <https://www.garage.co.jp/ir/>

Webメディア「DG Lab Haus」

DG Labの注力分野において、世界中のオープンイノベーションの現場で生まれるニュースや業界のリーダー達が語る未来を発信。



DG Lab Haus ホームページ <https://media.dglab.com/>

Business Report

第24期 2019年3月期 第2四半期



OPEN INCUBATION TOWARD 2020

第24期 2019年3月期 第2四半期

Financial Technology Segment



Marketing Technology Segment



Incubation Technology Segment



Long-term Incubation Segment



 **Digital Garage Group**

2019年3月期 第2四半期決算サマリー

FTとITが業績を牽引。DG Labは事業化フェーズが本格化、ブロックチェーン金融サービスの合併設立

FT and IT were the earnings driver. The commercialization phase began in full swing in DG Lab, and established a JV for blockchain financial services.

「Open Incubation toward 2020」をスローガンに掲げた中期経営計画がスタートしてから、中間地点となる1年半が経過しました。おかげさまで業績も好調に推移し、当第2四半期累計期間は大幅な増収増益を達成することができました。

フィナンシャルテクノロジー・セグメント (FT) では、決済取扱高が9,700億円超と、重点領域の非EC/対面決済や公金領域の取扱高が大幅に拡大し、業界を上回る好調が続いています。インキュベーションテクノロジー・セグメント (IT) は、アジアでの戦略的な株式売却が奏功し、大幅増益となりました。一方、マーケティングテクノロジー・セグメント (MT) は、前期の大型ゲーム特需の反動、戦略的な人材の増強、新規プロジェクトへの先行投資等により減益となりました。

DG Labでは、事業化フェーズの取り組みが本格化しております。ブロックチェーン領域では、ブロックチェーン金融サービスの研究開発と事業化を目的とした合併会社(株)Crypto Garageを、東京短資株式会社と設立しました。

当第2四半期には、転換社債を発行し、総額250億円の資金調達及び50億円の自社株買いを行っております。DGグループは、Open Incubationを着実に進展させ、FT/MT/IT/LTIの成長と、次世代の新たな収益の柱を育成してまいります。

One and a half years have passed since we launched our mid-term plan under the slogan "Open Incubation toward 2020." We were able to achieve a significant increase in sales and profits in this first half of the fiscal year.

In the Financial Technology segment (FT), the transactions volume exceeded 970B JPY, and the volume of non-EC/face-to-face settlements and public fund transactions in priority areas increased dramatically, resulting in continued strong growth over the industry. In the Incubation Technology segment (IT), profits increased significantly due to the success of the strategic sale of shares in Asia. Meanwhile, in the Marketing Technology segment (MT), profits declined due to a reaction to the strong demand for large-scale games in the previous fiscal year, strategic personnel reinforcement, and upfront investment in new projects.

In DG Lab, we have begun full-fledged efforts to commercialize our products. In the blockchain field, we established a JV company, Crypto Garage, Inc. with Tokyo Tanshi Co., Ltd., to conduct R&D and commercialization of blockchain financial services.

During the second quarter, we issued convertible bonds for a total of 25.0B JPY in funding and repurchased of our own shares for 5.0B JPY. The DG Group will steadily advance its Open Incubation, grow FT/MT/IT/LTI, and cultivate new earnings pillars for the next generation.



林 郁
Kaoru Hayashi

代表取締役 兼
社長執行役員グループCEO
Representative Director,
President Executive Officer
and Group CEO

売上高は前年同期比16%増収、税引前利益は同41%増の49億円

- 営業利益は同24%増の17億円と大幅増益。保有株式の一部売却等で特別利益15億円を計上
- 総額250億円の転換社債を発行。成長投資、資本効率の向上、財務基盤の強化を通じ、更なる企業価値向上へ

Net sales increased 16% YoY, and profit before income taxes increased 41% YoY to 4.9B JPY

- Operating profit jumped 24% YoY to 1.7B JPY. Extraordinary income of 1.5B JPY was recorded by the partial sale of shares held
- Issued convertible bonds totaling 25.0B JPY. Aim for further improvement of corporate value through growth investment, improvement of capital efficiency, and strengthening of financial base.

2019年3月期 第2四半期累計期間は、売上高**33,356百万円** (前年同期比**16%増**)、営業利益**1,758百万円** (同**24%増**)、税引前利益**4,929百万円** (同**41%増**)、四半期純利益**3,140百万円** (同**26%増**)となりました。

マーケティングテクノロジー・セグメントの税引前利益が戦略的先行投資等により同**40%減益**となったものの、大幅な増益を達成した要因として、フィナンシャルテクノロジー・セグメントの税引前利益が同**21%増**と高成長が続いていることに加え、インキュベーションテクノロジー・セグメントの税引前利益は同**11倍**、ロングタームインキュベーション・セグメントの税引前利益は

同**22%増**と、増益となったことが挙げられます。

また、当第2四半期において、**転換社債発行による総額250億円の資金調達及び資本効率の向上を目的とした50億円の自己株取得**を行いました。今回の資金調達は、既存事業セグメントへの成長投資及びDG Labにおける開発・事業化投資に充当することで将来の収益拡大に寄与する一方で、必要に応じた財務基盤の強化を図る体制を講じることで、**DGグループの事業成長性、収益性及び最適資本構成を考慮し、企業価値の最大化に資する**ものであると考えております。

(単位:百万円 / JPY in Millions)	2018.3期 FY18.3	2019.3期 FY19.3	前年同期比 YoY			
	2Q累計(実績)	2Q累計(実績)	(比率%)	2019.3期 FY19.3	(通期予想)	
	日本基準	日本基準		IFRS		
売上高	Net sales	28,719	33,356	+16.1	収益	33,500
営業利益	Operating Profit	1,416	1,758	+24.1		
営業外収益	Non-operating income	1,499	1,892	+26.2		
持分法投資利益	Investment profit on equity method	1,233	1,359	+10.2		
営業外費用	Non-operating expenses	237	226	-4.8		
経常利益	Ordinary profit	2,678	3,424	+27.9		
特別利益	Extraordinary income	852	1,541	+80.8		
税金等調整前当期純利益	Profit before income taxes	3,494	4,929	+41.1	税引前利益	9,000
法人税等	Income taxes	995	1,808	+81.8		
親会社株主に帰属する当期純利益	Profit attributable to owners of parent	2,490	3,140	+26.1	当期利益	6,200

売上高は前年同期比9%増の110億円、営業利益は同20%増の14億円と増収増益

Net sales increased 9% YoY to 11.0B JPY, and operating profit increased 20% YoY to 1.4B JPY

対面決済及び公金領域の決済が寄与し、決済取扱高は9,700億円まで拡大

Face-to-face settlement and public financing sector payments contributed to the increase in transaction volume to 970B JPY

フィナンシャルテクノロジー・セグメントでは、Eコマース（EC）をはじめとするBtoCの商取引に必要な不可欠なクレジットカード決済やコンビニ決済等の電子決済ソリューションの提供を行っております。

当2Q累計期間においては、売上高は前年同期比9%増の11,063百万円、税引前利益は同22%増の1,411百万円と増収増益となりました。決済取扱高は前年同期比39%増の9,784億円となり、大幅に伸長しました。特に、重点領域であるAlipay等の非EC領域の取扱高は同73%増と急拡大しております。

決済事業を展開するペリトランス（株）及び（株）イーコンテキストにおいて、EC市場での決済が高成長していることに加え、国民年金保険料のカード決済の取扱開始や、訪日外国人によるインバウンド消費に対応した対面決済をはじめ、飲食や不動産、葬儀等の市場に特化した非EC決済が急拡大しています。

非EC領域、対面決済に続き後払い決済等、事業パートナーとのアライアンスによる事業拡大を推進し、今後もFinTech業界の決済プラットフォームフォーマーとして、新たな成長領域を開拓してまいります。

セグメント売上 Segment sales

110億円 前年同期比 +8.9%

セグメント税引前利益 Profit before taxes

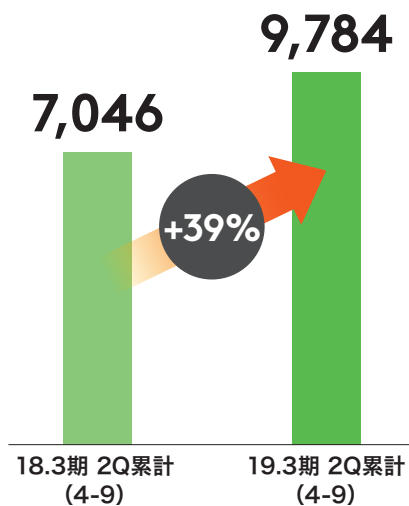
14.1億円 前年同期比 +21.9%

決済取扱高 Transaction Volume

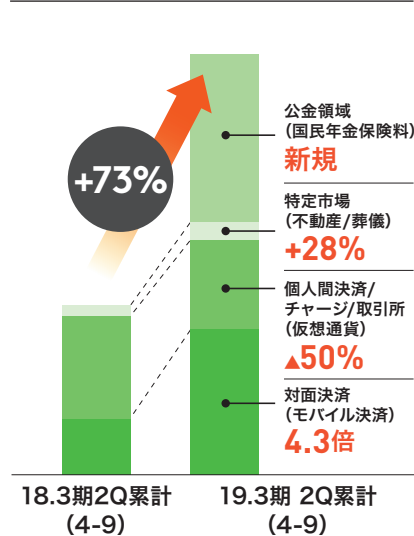
9,784億円 前年同期比 +38.9%

決済取扱高

(単位:億円)



重点分野(非EC領域等)の取扱高



アライアンスの推進

- I 後払い決済** (SCORE Payment Service)
アライアンス先: ニッセン
通販大手のニッセンと後払い決済事業の合併会社(株)SCOREを設立。
- II 対面決済 (POSレジ)** (TDペイメント株式会社)
アライアンス先: 東芝テック
東芝テックの実店舗のPOSシステムと連携し、対面決済サービスを拡充。2018年12月にTDペイメント(株)を設立予定。
- III 対面決済 (mPOS,マルチ決済)** (ANA DIGITAL GATE)
アライアンス先: ANAグループ
ANAグループと連携し、ANA Digital Gate(株)を設立。全国の空港、免税店、ホテル等に対し、対面決済を提供。

売上高は前年同期比8%増の187億円、営業利益は同46%減の6億円と増収減益

Net sales increased 8% YoY to 18.7B JPY, and operating profit decreased 46% YoY to 0.6B JPY

DGC社を連結子会社化。従来のパフォーマンスアドに加え、不動産領域を強化

DGC became a consolidated subsidiary. In addition to the existing performance ads, strengthen the real estate business

マーケティングテクノロジー・セグメントでは、ウェブとリアルを融合した総合プロモーション及びインターネット広告等のウェブマーケティングやビッグデータを活用したデータマネジメントビジネスを行っております。

当2Q累計期間においては、売上高は前年同期比8%増の18,702百万円、税引前利益は同41%減の653百万円となりました。

インターネット広告を手掛ける当社マーケティングテクノロジーカンパニーは、前年のゲーム領域の特需の反動、戦略的な人材の増強、新規プロジェクトへの先行投資等により減益となりました。一方、持分法適用関

連会社であった(株)DGコミュニケーションズ(DGC)の株式を追加取得し当第2四半期より連結子会社化致しました。今後はパフォーマンスアドの金融・コスメ/HR・スマホ/アプリ領域に加え、不動産領域を強化して参ります。

さらに、コンテンツメディアのインターネット上での新たな価値指標の創造を目指し、大手メディア32社が参加した「コンテンツメディア価値研究会」を発足しました。

セグメント売上 Segment sales

187億円 前年同期比 +8.1%

セグメント税引前利益 Profit before taxes

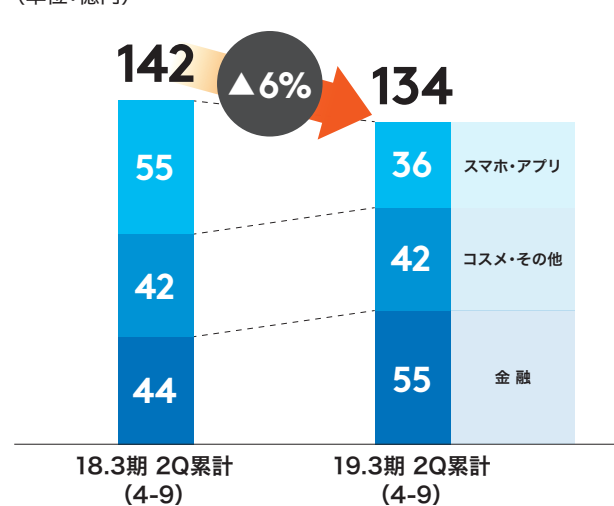
6.5億円 前年同期比 ▲40.5%

パフォーマンスアド売上 Sales from Performance-based Ads

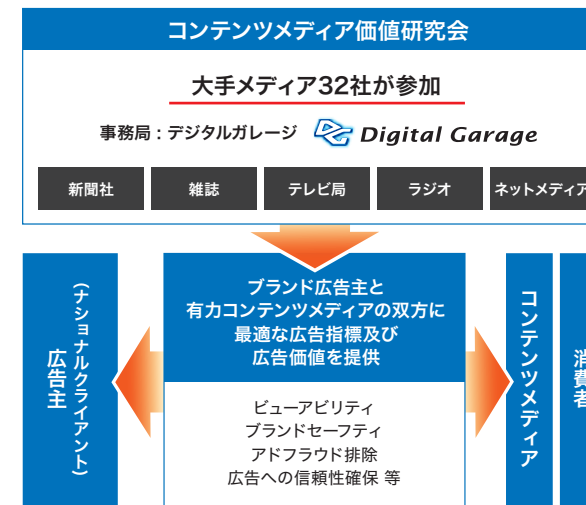
134億円 前年同期比 ▲5.5%

パフォーマンスアド売上

(単位:億円)



「コンテンツメディア価値研究会」を発足



インキュベーションテクノロジー・セグメント

INCUBATION TECHNOLOGY SEGMENT

アジア投資関連株の売却により、税引前利益は前年同期比11倍の14億円

Profit before income taxes increased 11-fold YoY to 1.4B JPY due to the sale of shares related to investment in Asia

国内外の有カスタートアップへの投資を拡大

Expand investment in leading startups in Japan and overseas

インキュベーションテクノロジー・セグメントでは、国内外のスタートアップ企業への投資・育成及び当社グループ内の事業との連携による投資先の育成などを行っております。

当2Q累計期間においては、売上高は前年同期比96%増の2,426百万円、**税引前利益は同11倍の1,483百万円**となりました。

投資事業における保有株式の売却時期が前倒しになったこと等により、**業績は順調に拡大**致しました。

当社においては、日本有数の起業家支援プログラムとして評価を

得ている「Seed Accelerator Program」を展開し、Open Network Labにおけるスタートアップ事業を強化しております。当2Q累計期間においては、**バイオテクノロジー・ヘルスケア特化型プログラムである「Open Network Lab BioHealth」を開始**致しました。今後もOpen Network Labは、当社が構築するGlobal Incubation Streamと連携し、東京から地方都市、世界各地のスタートアップ育成に寄与し、エリアや分野の垣根を越えて、さらに展開を加速させていきます。

セグメント税引前利益 Profit before taxes

14億円 前年同期比 10.7倍

投資残高 Investment balance

150億円 ※

投資額 Amount invested

23億円 ※

投資残高

	社数	投資残高
株式	162	139億円
国内	56	27億円
海外	106	111億円
ファンド	12	11億円
計	174	150億円

※DGインキュベーションの投資残高。上場銘柄は期末時価による評価額。株式は転換権付融資含む。上記残高合計は単位未満切捨てのため一致しない場合があります

主要なポートフォリオ

 Blockstream <small>[米・加]</small>	ブロックチェーンの多目的な応用を容易にするプラットフォーム技術「サイドチェーン」を開発	 WHILL <small>[日本]</small>	従来の電動車椅子ではなく、スタイリッシュなデザインと洗練された使い心地、直感的な操作性を兼ね備えた全く新しいパーソナルモビリティを開発・提供
 Droom <small>[インド]</small>	インド最大の自動車売買オンラインマーケットプレイス「Droom」を運営	 Repro <small>[日本]</small>	モバイルアプリ向けのアナリティクス・マーケティングツールSDK「Repro(リプロ)」を提供
 PureTech Health <small>[米国]</small>	最先端のバイオテクノロジー領域でインキュベーションを手掛ける米国企業。ロンドン証券取引所上場	 モンスター・ラボ <small>[日本]</small>	世界各国のエンジニアに開発を依頼できるグローバルソーシングプラットフォーム「セカイラボ」を運営
 Cloudian <small>[米国]</small>	IoT、AI、ビッグデータ分析等に使用される大量データを経済的に、安全に保存するクラウドストレージシステムを構築運用	 パネイル <small>[日本]</small>	クラウドコンピューティングと人工知能を活用して完全自動化した電力小売プラットフォーム「Panair Cloud」を提供

ロングタームインキュベーション・セグメント

LONG-TERM INCUBATION SEGMENT

税引前利益は前年同期比22%増の15億円。(株)Crypto Garage設立

Profit before income taxes increased 22% YoY to 1.5B JPY. Established Crypto Garage, Inc.

カカコムの業績が順調に推移、セグメント利益は好調に推移

Kakaku.com, Inc.'s results trended favorably, and segment income trended strongly

ロングタームインキュベーション・セグメントでは、当社がこれまで培ってきた投資育成や事業開発のノウハウを活かし、中長期的かつ継続的な事業利益の創出に取り組んでおります。

当2Q累計期間においては、売上高は1,164百万円、**税引前利益は前年同期比22%増の1,519百万円**となりました。関係会社株式の売却や、持分法適用関連会社である**(株)カカコムの業績が順調**であったこと等により、**堅調に推移**しております。

今後は、ブロックチェーンを利用した法人間の決済事業に参入する

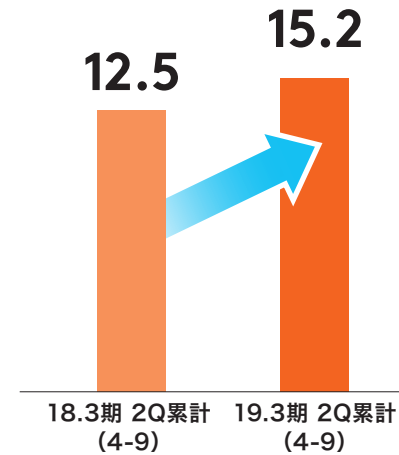
予定です。このために、銀行間取引市場・オープン市場で仲介・媒介業務を手がける**東京短資(株)との共同で、フィンテック分野におけるブロックチェーン金融サービスの研究開発と事業化を目的とした(株)Crypto Garageを設立**致しました。(株)Crypto Garageは仮想通貨・ブロックチェーン領域におけるサービスを本格展開するための技術開発を推進し、革新的な金融サービスを生み出していくことを目指してまいります。

セグメント税引前利益 Profit before taxes

15億円 前年同期比 +21.8%

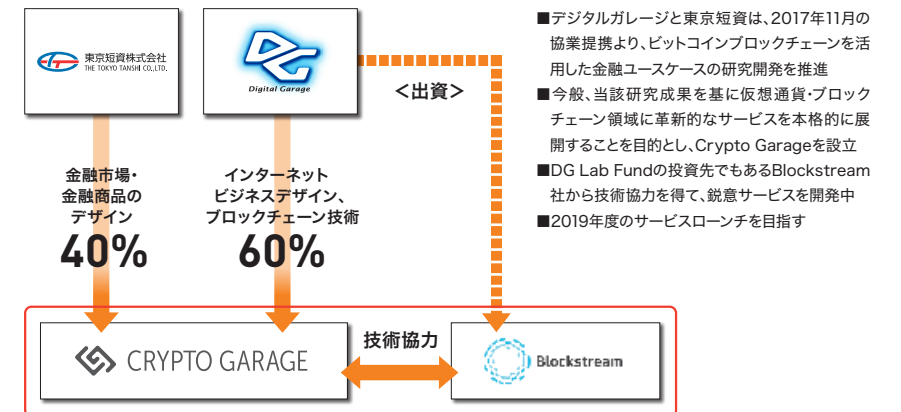
税引前利益

(単位:億円)



フィンテック関連事業の新規創出

2018年9月にフィンテック分野におけるブロックチェーン金融サービスの研究開発と事業化を目的とした合併会社、Crypto Garageを東京短資と設立。鋭意サービス開発を推進中

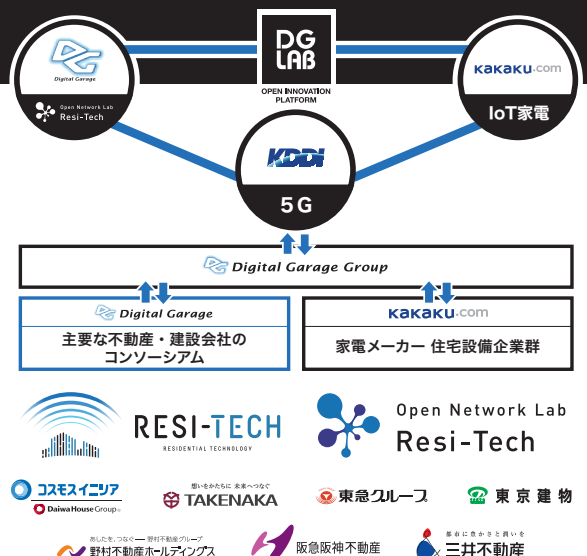


TOPICS

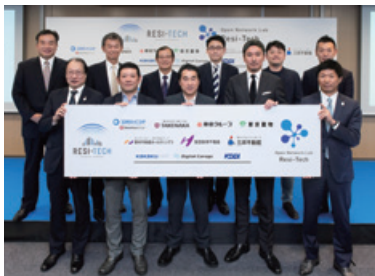


不動産関連スタートアップを対象としたグローバルな育成プログラム「Open Network Lab Resi-Tech」を始動

Launched "Open Network Lab Resi-Tech," a global accelerator program targeting real estate-related startups



5G時代を見据え、人々の暮らしを豊かにするサービスなどを手がける有望なシードステージ企業の育成・支援と、アーリー・ミドルステージ企業との共創に向けて、不動産・建設・ライフライン業界を牽引する大手優良企業がパートナーとして参画し、スタートアップへのメンタリング、事業ノウハウのレクチャーを行います。また、DGのグローバルネットワークとの連携を通じ、日本発のスタートアップの海外展開や、海外スタートアップの日本市場展開等をサポートします。



バイオヘルス特化型のアクセラレータープログラムを始動

Launched an accelerator program specialized in BioHealth



デジタルとの融合～創薬まで幅広い事業内容

- 国内外から予想を上回る多数の応募
- 大学発、地方発、当事者起業家など多彩な顔ぶれ

パートナーらと共に選考実施、直接メンタリングで支援

- スタートアップの課題に応じて、パートナー企業の専門家や DG Labおよびネットワークのメンターがアドバイス

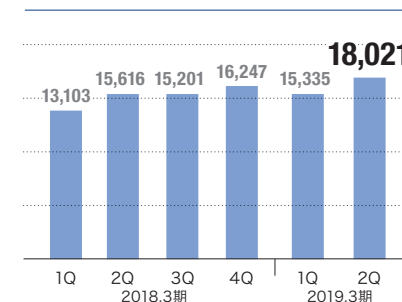
今後の取り組み 2019年1月中旬にDemo Day開催 スタートアップの次の資金調達や協業先開拓のためのアピール

業績の推移 Financial Results

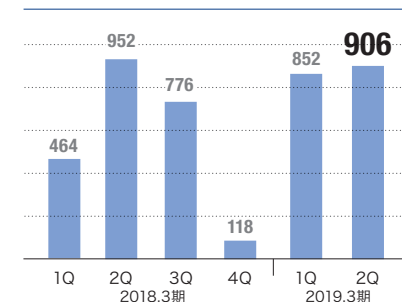
連結業績 Consolidated Performance

(単位:百万円 / JPY in Millions)

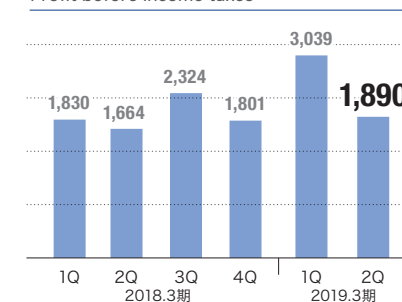
売上高 Net sales



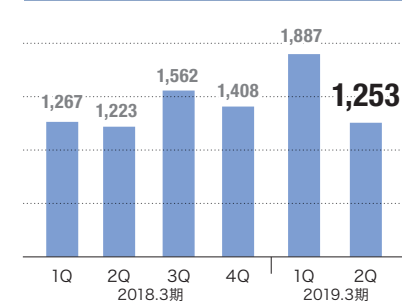
営業利益 Operating profit



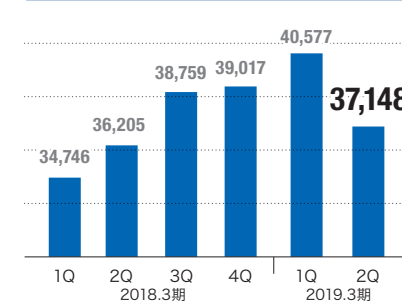
税金等調整前当期純利益 Profit before income taxes



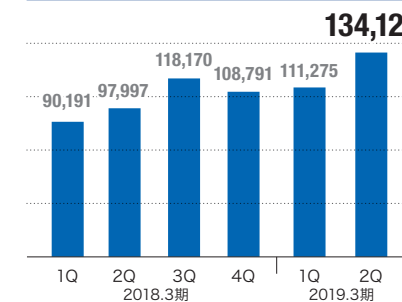
親会社株主に帰属する当期純利益 Profit attributable to owners of parent



純資産額 Net assets

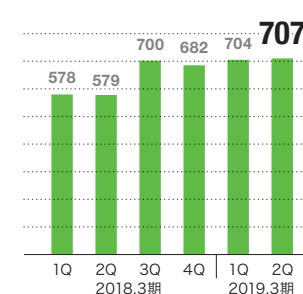


総資産額 Total assets

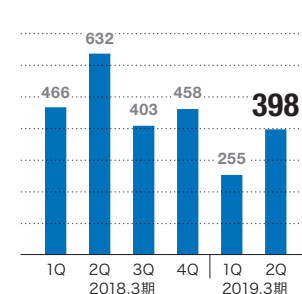


セグメント別税金等調整前当期純利益 Profit before income taxes by segments (単位:百万円 / JPY in Millions)

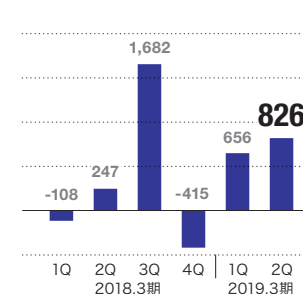
FT



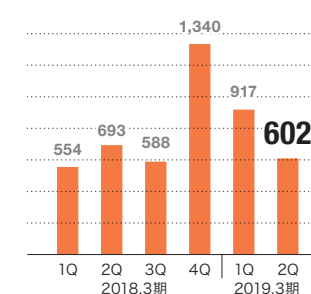
MT



IT



LTI



❖ 連結貸借対照表(要約) Consolidated Balance Sheet Summary

(単位:百万円 / JPY in Millions)		2018.3期末	2019.3 2Q末	前期末比 (金額)	主たる変動要因/備考
流動資産	Current assets	75,176	97,387	+22,211	[転換社債発行による資金調達、自社株買い、法人税と配当金の支払い等
現金	Cash and deposits	32,922	49,415	+16,493	
金銭の信託	Money held in trust	5,307	4,858	▲449	FT事業関連科目
受取手形及び売掛金	Notes and accounts receivable	7,741	8,707	+965	DGコミュニケーションズ社の連結子会社化
営業投資有価証券	Operational investment securities	12,364	15,052	+2,688	新規投資、時価評価等
未収入金	Receivables	16,889	19,442	+2,553	FT事業関連科目
固定資産	Fixed assets	33,419	36,689	+3,269	
投資有価証券	Investment securities	16,552	19,106	+2,554	アイリッジ社増資引受、持分法投資利益取込
資産合計	Total assets	108,596	134,128	+25,532	
流動負債	Current liabilities	49,294	51,159	+1,865	
支払手形及び買掛金	Notes and accounts payable	5,018	6,960	+1,942	DGコミュニケーションズ社の連結子会社化
短期借入金	Short-term borrowing	4,137	8,510	+4,373	FT運転資金需要
預り金	Deposits	36,499	31,185	▲5,313	FT事業関連科目
固定負債	Fixed liabilities	20,284	45,821	+25,536	
転換社債型新株予約権付社債	Convertible bond-type bonds with share acquisition rights	-	25,245	+25,245	転換社債の発行
長期借入金	Long-term borrowing	18,890	18,524	▲366	
繰延税金負債	Deferred tax liabilities	601	700	+98	有価証券の含み益に係る税金見込額
負債合計	Total liabilities	69,578	96,980	+27,402	
純資産	Net assets	39,017	37,148	▲1,869	
株主資本	Shareholders' equity	36,363	33,392	▲2,970	
資本金	Common stock	7,464	7,482	+17	
資本剰余金	Capital surplus	3,104	3,109	+4	
利益剰余金	Retained earnings	25,819	27,826	+2,007	当期純利益の取り込み 自社株買いの実施
自己株式	Treasury shares	▲26	▲5,026	▲4,999	
その他の包括利益累計額	Accumulated other comprehensive income	1,440	2,296	+856	
有価証券評価差額金	Unrealized gains on securities	339	980	+641	有価証券の税引後含み益
負債純資産合計	Liabilities / Net assets	108,596	134,128	+25,532	

[財務レバレッジと資本効率の向上]

	Recap CB前	Recap CB後
財務レバレッジ	2.76倍	3.07倍
予想ROE	15.4%	16.4%
予想EPS	131.49円	133.44円

※自己株式取得に伴い約126万株取得、自己資本50億円減少

❖ 会社情報

(2018年9月30日現在)

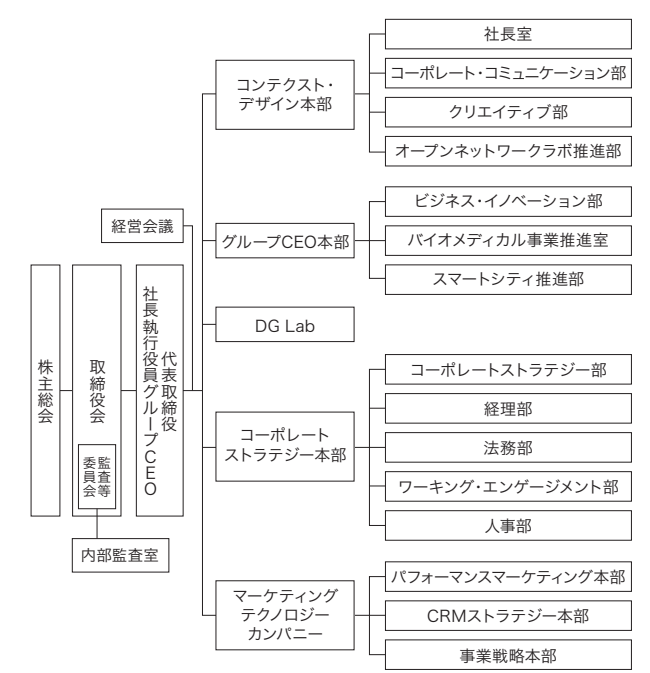
会社概要

商号 株式会社デジタルガレージ 従業員(単体) 450名
 設立 1995年8月17日 (連結) 949名

役員

代表取締役	林 郁	社外取締役	藤原 謙次
取締役	曾田 誠	社外取締役	大村 恵実
取締役	踊 契三	取締役(監査等委員)	六彌太 恭行
取締役	田中 将志	社外取締役(監査等委員)	坂井 眞
取締役	枝澤 秀雄	社外取締役(監査等委員)	井上 準二
取締役	大熊 将人	社外取締役(監査等委員)	牧野 宏司
取締役	伊藤 穰一	社外取締役(監査等委員)	大野 実

組織図



株式情報

発行可能株式総数: 120,000,000株 議決権総数: 459,358個
 発行済株式総数: 47,326,300株 株主数: 6,388名

大株主

株主名	株数(株)	持株比率(%)
林 郁	6,813,300	14.83%
(株)電通	3,300,000	7.18%
日本スタートラスト信託銀行(株)(信託口)	2,549,400	5.55%
TIS(株)	2,364,500	5.15%
ジェービー モルガン バンク ルクセンブルグ エスエイ 385576	1,639,300	3.57%
ザ バンク オブ ニューヨーク 133524	1,463,800	3.19%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	1,318,700	2.87%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口9)	986,300	2.15%
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505025	890,700	1.94%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口5)	687,000	1.50%

※持株比率は自己株式(1,385,852株)を控除して計算しております。

株式分布状況

株式数

